



すぎなみ地域大学について

1 地域大学とは

地域サービスを地域住民自らが担うために、必要な知識・技術を学び、仲間づくりを進め、具体的なサービスの供給に結び付けるための、新しい文化創造の仕組みとして設立

<基本理念>

- 区民の社会貢献意欲を喚起し、自らの可能性を広げる「学びの仕組み」をつくる
- 地域貢献活動を担うNPO等の人材づくりを支援し、「協働の担い手」を育てる
- 地域の課題解決に向け、区民が知恵と力を出し合い取り組む「協働社会の基盤」をつくる

2 地域大学設立の背景

○地方分権の推進

→地域の課題は地域で解決する時代。生活様式が多様化する中、行政のみできめ細かいサービス提供は困難

○人口減少時代の到来

→少子高齢化の進展等により、サービス需要は拡大。
しかし、自治体財政は一層厳しいものに

○協働の時代

→国の規制緩和や区内NPO活動の活発化等を踏まえ、区は小さな区役所づくりを進める一方、協働の担い手づくりが必要。団塊世代の地域還流は大きな契機

**地域に貢献する人材、
協働の担い手づくりは
区政の重要課題！**

3 団塊世代の地域還流に向けた対応

○ 2007年問題：団塊世代（1947～1949年生まれ）が大量に定年退職（全国約700万人、都内約63万人、区内2万4千人余—全区民の約5%—）

→課題：企業・職場では「労働力・技術の継承」
年金・医療・介護面では「費用の増大」
地域社会では「地域での受け皿（活動の機会や場）づくり」

**自治体の役割：高い能力・経験を持つ団塊世代の地域還流を支援し、
地域社会に貢献する人材として活かす！**

○そのために、区では…

「すぎなみ地域活動ネット <http://sugi-ck.net/>」を稼動（17年4月）

→インターネットで地域活動情報を広く発信し、区民の地域活動への参加を促進

「すぎなみ地域大学 <http://www.city.suginami.tokyo.jp/>」を開校（18年4月）

→地域デビュー講座、公共サービス分野での起業コース等の実践的講座等を実施
など、「地域人材育成・協働システムの構築」を推進

4 地域大学のあらまし

○目的 : 団塊世代の地域還流を契機として、地域貢献人材を育成するとともに、協働の担い手となる団体づくり・公共サービス分野の起業を応援



地域社会に貢献する人材、区との協働の担い手を養成!

○特徴 : ①講座内容は、実学・実践重視

②地域デビュー編や起業家養成など、幅広いニーズに即した講座を展開

③修了後の活動メニューや活躍場面を提示し、受講生の目的意識を明確化

○対象 : 区内在住、在勤、在学者（地域活動に意欲のある区民）

○場所 : 主に杉並区職員能力開発センター（現場実習やフィールドワークは区内各所）

○授業 : 各講座・コースで曜日・時間帯を固定。1時限2時間程度（現場実習等を除く）

○受講料 : 原則として有料

すぎなみ地域大学事務局

（杉並区役所 区民生活部 すぎなみ地域大学担当）

〒166-0015 杉並区成田東 4-36-13

杉並区職員能力開発センター2階

電話 3312-2381 FAX3312-2387